

# わが家の防災メモ

いざという時に備えて書き込んでおきましょう!

防災メモ

## 1 わが家の避難所 →

火山噴火:
洪水:
土砂災害:

防災メモ

## 2 絶対に持って逃げる物 ※普段から使っているもので、非常持ち出し袋に入れておけないもの。

普段服用している薬(お薬手帳) 補聴器 メガネ

防災メモ

## 3 非常持ち出し袋に入れておくもの

### 【貴重品】

- 小銭
- 身分証明書のコピー
- 銀行の口座番号の控え
- クレジットカード番号の控え
- 保険の番号の控え

### 【食料品(重くなり過ぎないように!)】

- 飲料水
- 非常食
- 粉ミルク
- 非常用離乳食

### 【衛生用品】

- マスク
- ウェットティッシュ
- 口腔衛生品(歯ブラシ等)
- 介護用品
- 医療品(絆創膏)

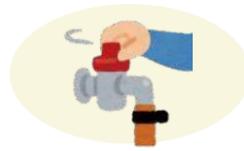
### 【日用品】

- 各種充電器
- ビニール袋
- 筆記用具・メモ帳
- カイロ

防災メモ

## 4 避難所に行く前に確認すること

- 火の元
- ガスの元栓
- 電気のブレーカー
- 戸締り



防災メモ

## 5 家族の連絡先 ※携帯電話がなくても困らないように、家族の連絡先をメモしておきましょう。

家族の名前	携帯番号	勤務先等電話番号

お問い合わせ



壮警町役場 総務課 TEL.(0142)66-2121 FAX.(0142)66-7001

〒052-0101 有珠郡壮警町字滝之町287番地7

【壮警町ホームページ】<https://www.town.sobetsu.lg.jp/> 【総務課防災メールアドレス】[bousai@town.sobetsu.lg.jp](mailto:bousai@town.sobetsu.lg.jp)

2022年4月発行



地域を知って、  
自分と家族を  
守ろう!

# 壮警町 防災 マップ

## 目次

### 【火山噴火・洪水・土砂災害ハザードマップ】

・ 壮警町全域図	1
・ ①滝之町・立香・東湖畔・久保内地区	3
・ ②壮警温泉・洞爺湖温泉・昭和新山地区	5
・ ③仲洞爺・東湖畔地区	7
・ ④久保内・南久保内・弁景・幸内地区	9
・ ⑤蟠溪・幸内・上久保内地区	11
【大雨に備えて】	13
【有珠山噴火に備えて】	15
【「避難」って何をすればいいの?】	18
【わが家の防災メモ】	19

発刊に  
あたって

近年、全国各地で自然災害が多発しています。本町には活火山、有珠山があります。町ではこのたび、水防法の規定に基づく長流川等の洪水氾濫危険区域図、火山災害と土砂災害の影響予測に町の指定避難所等を重ね合わせた「壮警町防災マップ」を作成しました。「災害への備え」としてご活用ください。

# 壮瞥町 全域図



## 火山噴火の影響が予測される区域 (山頂噴火)

この色の付いている区域では、山頂噴火が発生した時に、火砕流や火砕サージに襲われる可能性があります。

### 【山頂噴火の危険区域】



## 洪水の影響が予測される区域 (長流川・壮瞥川)

想定し得る最大規模の降雨(※)により浸水が想定される区域です。想定される浸水深を色別で表しています。

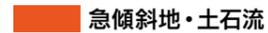
### 【想定される浸水深】



※想定し得る最大規模の降雨とは、長流川流域で1時間30mm、壮瞥川流域で1時間130mmです。  
※長流川と壮瞥川についてのみ記載しています。  
※色が付いていない区域においても浸水が発生する場合や、実際の浸水深が想定と異なる場合があります。

## 土砂災害が発生するおそれがある区域

### 【土砂災害特別警戒区域】



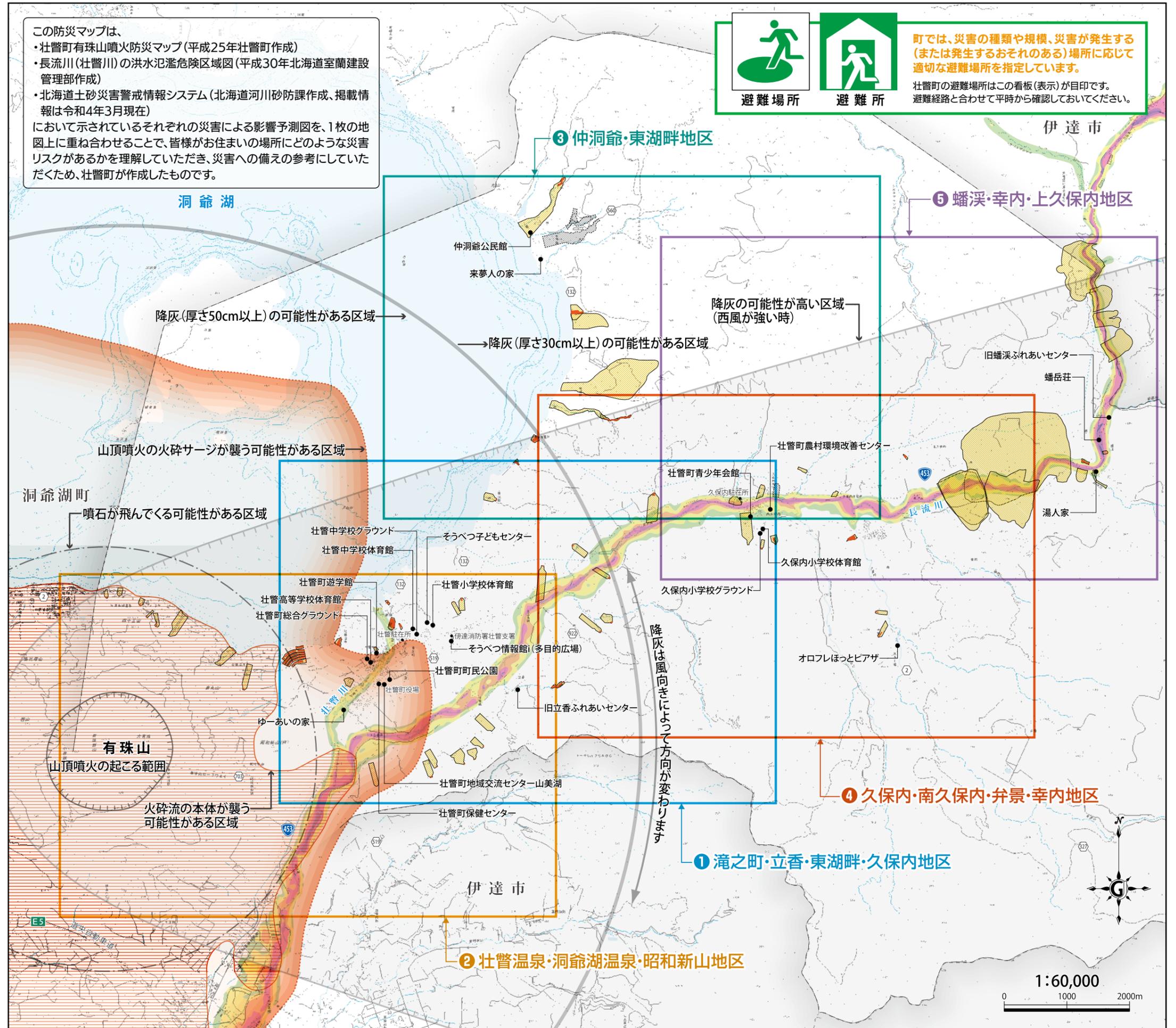
### 【土砂災害警戒区域】



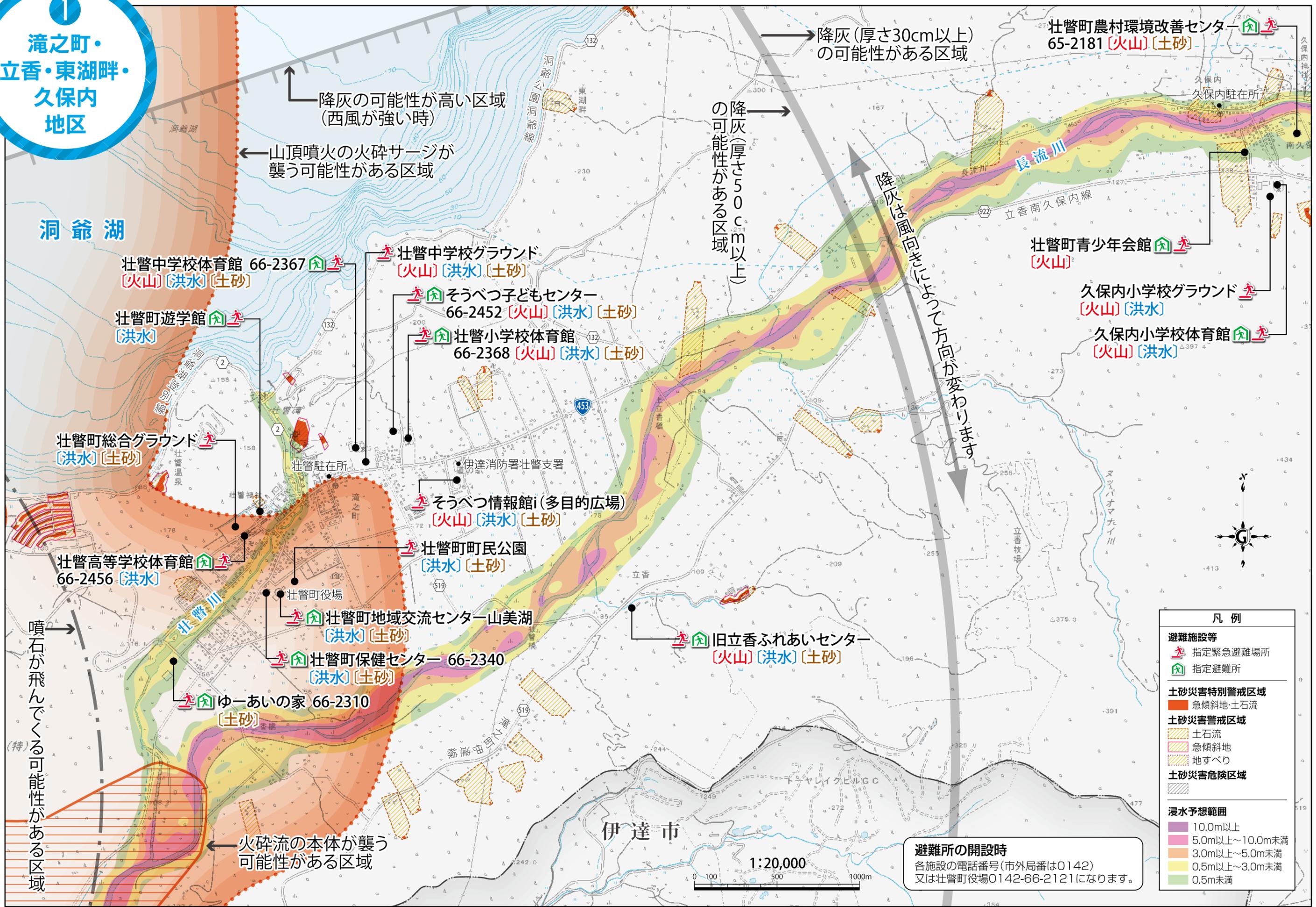
### 【土砂災害危険区域】



この防災マップは、  
 ・壮瞥町有珠山噴火防災マップ(平成25年壮瞥町作成)  
 ・長流川(壮瞥川)の洪水氾濫危険区域図(平成30年北海道室蘭建設管理部作成)  
 ・北海道土砂災害警戒情報システム(北海道河川砂防課作成、掲載情報は令和4年3月現在)  
 において示されているそれぞれの災害による影響予測図を、1枚の地図上に重ね合わせることで、皆様がお住まいの場所にどのような災害リスクがあるかを理解していただき、災害への備への参考にしていただくため、壮瞥町が作成したものです。



1  
滝之町・立香・東湖畔・久保内地区



降灰の可能性が高い区域  
(西風が強い時)

山頂噴火の火砕サージが襲う可能性がある区域

降灰(厚さ30cm以上)の可能性がある区域

降灰(厚さ50cm以上)の可能性がある区域

降灰は風向きによって方向が変わります

噴石が飛んでくる可能性がある区域

火砕流の本体が襲う可能性がある区域

壮警町農村環境改善センター  
65-2181 [火山][土砂]

壮警町青少年会館  
[火山]

久保内小学校グラウンド  
[火山][洪水]

久保内小学校体育館  
[火山][洪水]

壮警中学校体育館 66-2367  
[火山][洪水][土砂]

壮警中学校グラウンド  
[火山][洪水][土砂]

そうべつ子どもセンター  
66-2452 [火山][洪水][土砂]

壮警小学校体育館  
66-2368 [火山][洪水][土砂]

壮警町総合グラウンド  
[洪水][土砂]

そうべつ情報館i(多目的広場)  
[火山][洪水][土砂]

壮警町町民公園  
[洪水][土砂]

壮警高等学校体育館  
66-2456 [洪水]

壮警町地域交流センター山美湖  
[洪水][土砂]

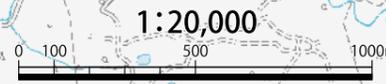
壮警町保健センター 66-2340  
[洪水][土砂]

旧立香ふれあいセンター  
[火山][洪水][土砂]

ゆーあいの家 66-2310  
[土砂]

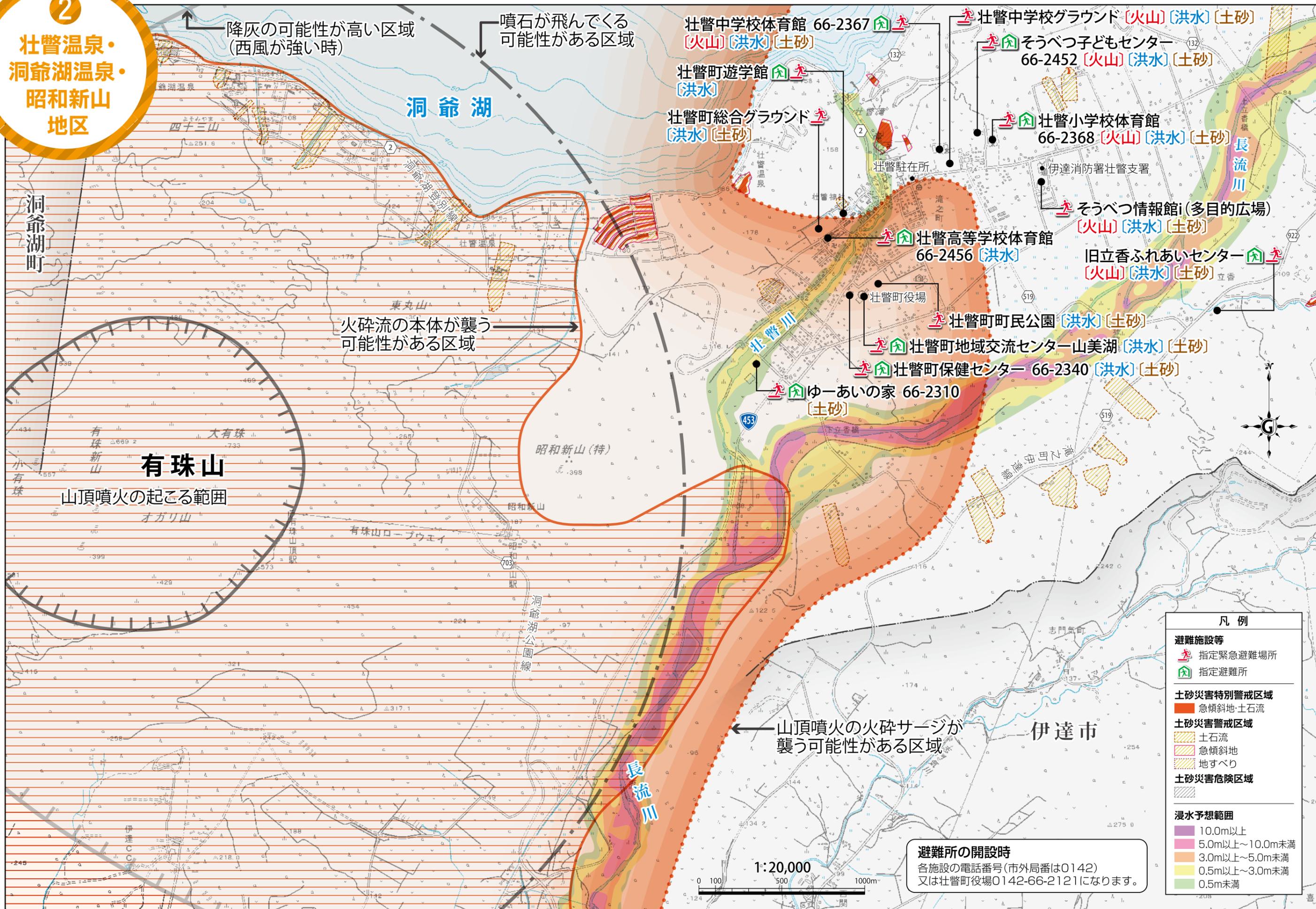
凡例	
<b>避難施設等</b>	
	指定緊急避難場所
	指定避難所
<b>土砂災害特別警戒区域</b>	
	急傾斜地・土石流
<b>土砂災害警戒区域</b>	
	土石流
	急傾斜地
	地すべり
<b>土砂災害危険区域</b>	
<b>浸水予想範囲</b>	
	10.0m以上
	5.0m以上~10.0m未満
	3.0m以上~5.0m未満
	0.5m以上~3.0m未満
	0.5m未満

**避難所の開設時**  
各施設の電話番号(市外局番は0142)  
又は壮警町役場0142-66-2121になります。



2

壮瞥温泉・洞爺湖温泉・昭和新山地区



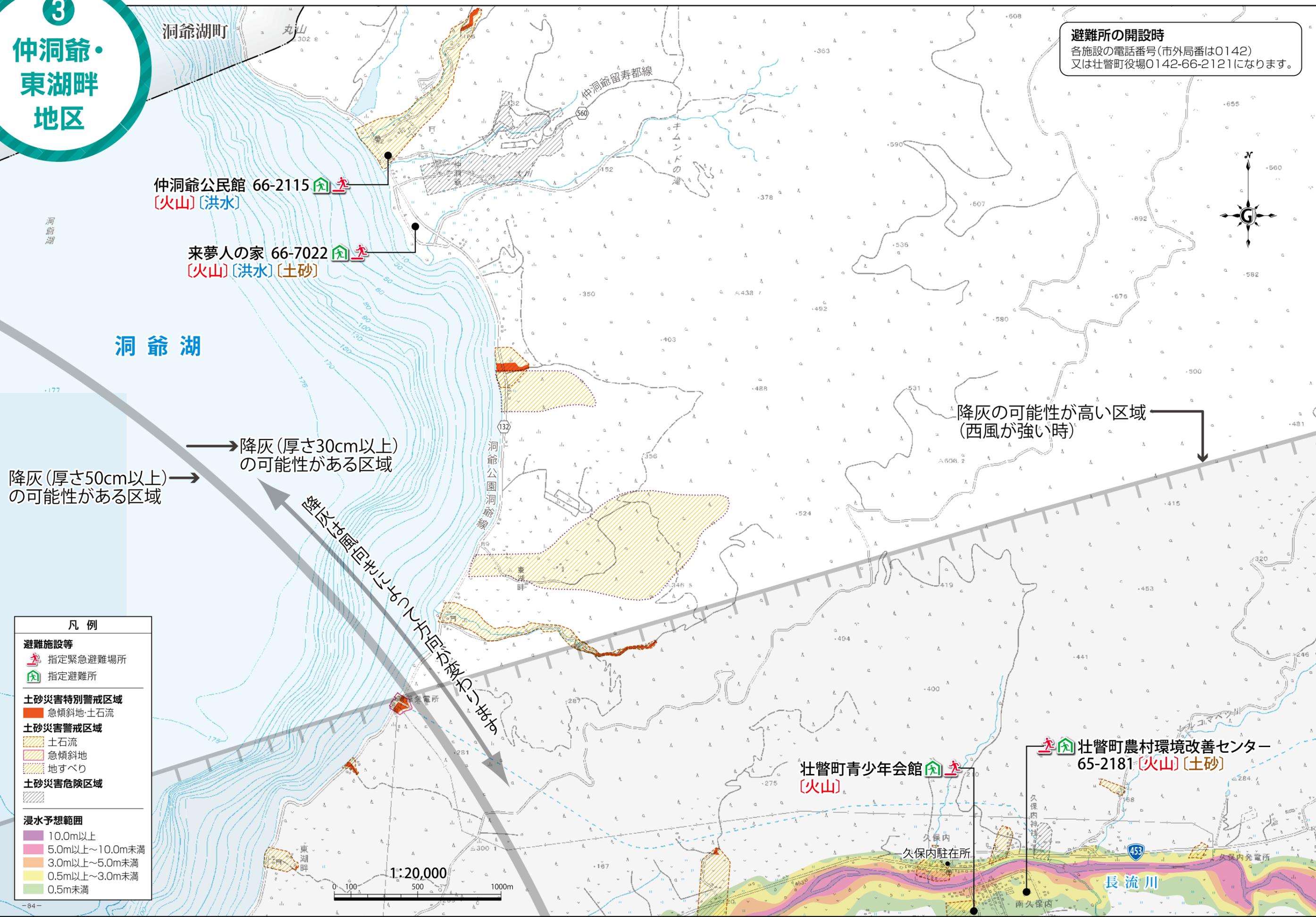
凡例	
<b>避難施設等</b>	
	指定緊急避難場所
	指定避難所
<b>土砂災害特別警戒区域</b>	
	急傾斜地・土石流
<b>土砂災害警戒区域</b>	
	土石流
	急傾斜地
	地すべり
<b>土砂災害危険区域</b>	
<b>浸水予想範囲</b>	
	10.0m以上
	5.0m以上～10.0m未満
	3.0m以上～5.0m未満
	0.5m以上～3.0m未満
	0.5m未満

**避難所の開設時**  
 各施設の電話番号(市外局番は0142)  
 又は壮瞥町役場0142-66-2121になります。

3

# 仲洞爺・東湖畔地区

**避難所の開設時**  
各施設の電話番号(市外局番は0142)  
又は壮警町役場0142-66-2121になります。



仲洞爺公民館 66-2115 (指定緊急避難場所) (指定避難所)  
[火山] [洪水]

来夢人の家 66-7022 (指定緊急避難場所) (指定避難所)  
[火山] [洪水] [土砂]

降灰の可能性が高い区域  
(西風が強い時)

降灰(厚さ30cm以上)の可能性がある区域

降灰(厚さ50cm以上)の可能性がある区域

降灰(厚さ50cm以上)の可能性がある区域

凡例	
<b>避難施設等</b>	
	指定緊急避難場所
	指定避難所
<b>土砂災害特別警戒区域</b>	
	急傾斜地・土石流
<b>土砂災害警戒区域</b>	
	土石流
	急傾斜地
	地すべり
<b>土砂災害危険区域</b>	
<b>浸水予想範囲</b>	
	10.0m以上
	5.0m以上～10.0m未満
	3.0m以上～5.0m未満
	0.5m以上～3.0m未満
	0.5m未満

1:20,000  
0 100 500 1000m

壮警町農村環境改善センター 65-2181 (指定緊急避難場所) (指定避難所)  
[火山] [土砂]

壮警町青少年会館 (指定緊急避難場所) (指定避難所)  
[火山]

久保内駐在所

長流川

[測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 3]Hf 532「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

4

久保内・南久保内・弁景・幸内地区

降灰の可能性が高い区域  
(西風が強い時)

壮瞥町農村環境改善センター  
65-2181 [火山][土砂]

壮瞥町青少年会館  
[火山]

降灰(厚さ30cm以上)  
の可能性がある区域

降灰(厚さ50cm以上)  
の可能性がある区域

降灰は風向きによって方向が変わります

久保内小学校グラウンド  
[火山][洪水]

久保内小学校体育館  
[火山][洪水]

オロフレほっとピアザ 65-2500  
[火山][洪水][土砂]

凡例

- 避難施設等**
- 指定緊急避難場所
  - 指定避難所
- 土砂災害特別警戒区域**
- 急傾斜地・土石流
- 土砂災害警戒区域**
- 土石流
  - 急傾斜地
  - 地すべり
- 土砂災害危険区域**
- 
- 浸水予想範囲**
- 10.0m以上
  - 5.0m以上~10.0m未満
  - 3.0m以上~5.0m未満
  - 0.5m以上~3.0m未満
  - 0.5m未満

避難所の開設時

各施設の電話番号(市外局番は0142)  
又は壮瞥町役場0142-66-2121になります。

1:20,000



5

蟠溪・幸内・  
上久保内  
地区

凡例	
<b>避難施設等</b>	
	指定緊急避難場所
	指定避難所
<b>土砂災害特別警戒区域</b>	
	急傾斜地・土石流
<b>土砂災害警戒区域</b>	
	土石流
	急傾斜地
	地すべり
<b>土砂災害危険区域</b>	
	土砂災害危険区域
<b>浸水予想範囲</b>	
	10.0m以上
	5.0m以上～10.0m未満
	3.0m以上～5.0m未満
	0.5m以上～3.0m未満
	0.5m未満

降灰の可能性が高い区域  
(西風が強い時)

旧蟠溪ふれあいセンター  
65-2004 [火山][土砂]

蟠岳荘  
(福祉避難所)

壮瞥町青少年会館  
[火山]

壮瞥町農村環境改善センター  
65-2181 [火山][土砂]

湯人家  
(福祉避難所)

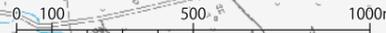
久保内小学校グラウンド  
[火山][洪水]

久保内小学校体育館  
[火山][洪水]

避難所の開設時

各施設の電話番号(市外局番は0142)  
又は壮瞥町役場0142-66-2121になります。

1:20,000



伊達市

## 避難のための情報 (気象庁等と壮警町より発表・発令)

住民の避難行動等を、直感的に理解できる「警戒レベル」で危険度や避難のタイミングを伝えます。

**警戒レベル4で必ず全員避難!**

### 市町村が出す避難情報等

警戒レベル	避難情報等	状況	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保!
4	避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難
2	大雨・洪水 注意報	気象状況悪化	自らの 避難行動を確認
1	早期注意情報	今後気象状況悪化のおそれ	災害への 心構えを高める

### 気象庁等が出す河川水位や雨の情報

警戒レベル相当	浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報(土砂災害)
4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2相当	氾濫注意情報	—
1	—	—

(注) 町長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒相当レベル情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

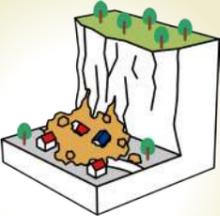
高齢者等避難とは高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をし、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

## 土砂災害について知る

### 土砂災害の種類

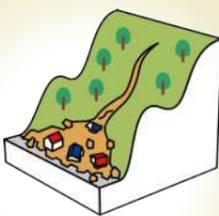
#### がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるうえ、崩れるスピードも速いです。



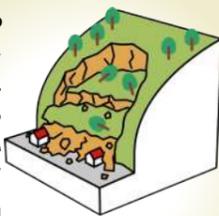
#### 土石流

長雨や集中豪雨などによって、山や川の石や砂が、水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。

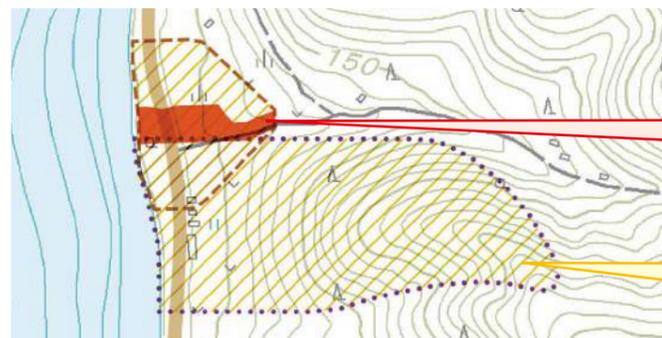


#### 地すべり

大雨や長雨によって雨水が地面にしみ込み、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたってゆっくりと動き出す現象です。



### 土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域



この防災マップでは、土砂災害の危険がある地域を以下の様に示しています。

#### 土砂災害特別警戒区域

土砂災害が発生した場合に、建築物の損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域

#### 土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域

## 使おう!キキクル 雨による災害の危険度を地図上にリアルタイムで表示

### キキクルとは?

#### ● 雨による災害の危険度を地図上にリアルタイム表示

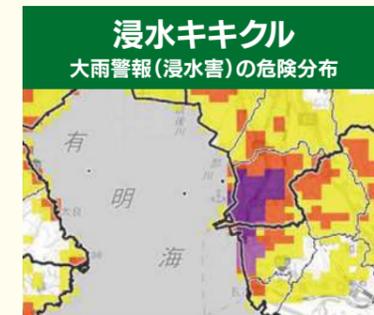
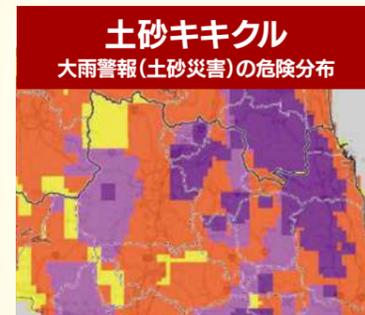
自分がいる場所の災害の危険度を地図上で確認できます。

雨による災害の危険度が10分ごとに更新されます。

15:50 16:00 16:10

※常に最新の情報を確認してください。

#### ● 土砂災害・浸水害・洪水の3種類



#### ● 危険度を5段階に色分けして表示

高危険度 低

- 極めて危険: 重大な災害がすでに発生しているおそれ
- 非常に危険: 重大な災害が数時間以内数時間以内に発生するおそれ
- 警戒
- 注意
- 今後の情報等に留意

※洪水警報の危険度分布の「今後の情報等に留意」は水色表示となっています。



#### ● キキクルの使い方のポイント

土砂 浸水 洪水 ハザードマップとの重ね合わせ

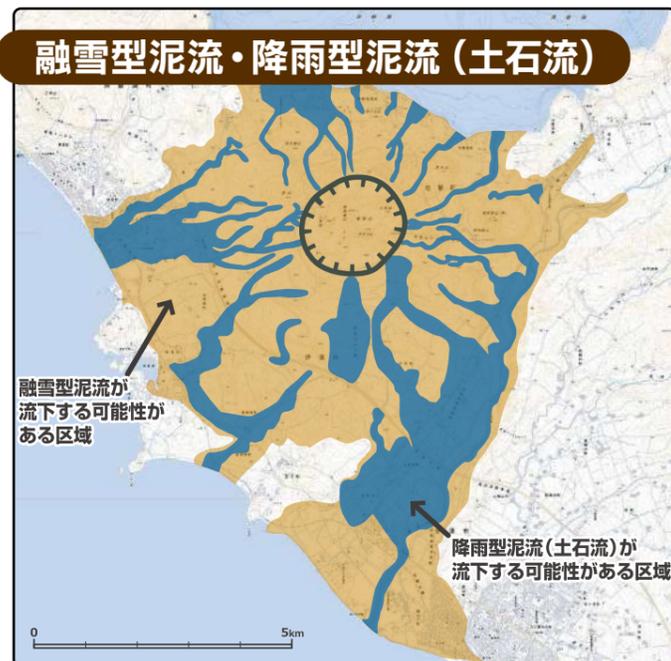
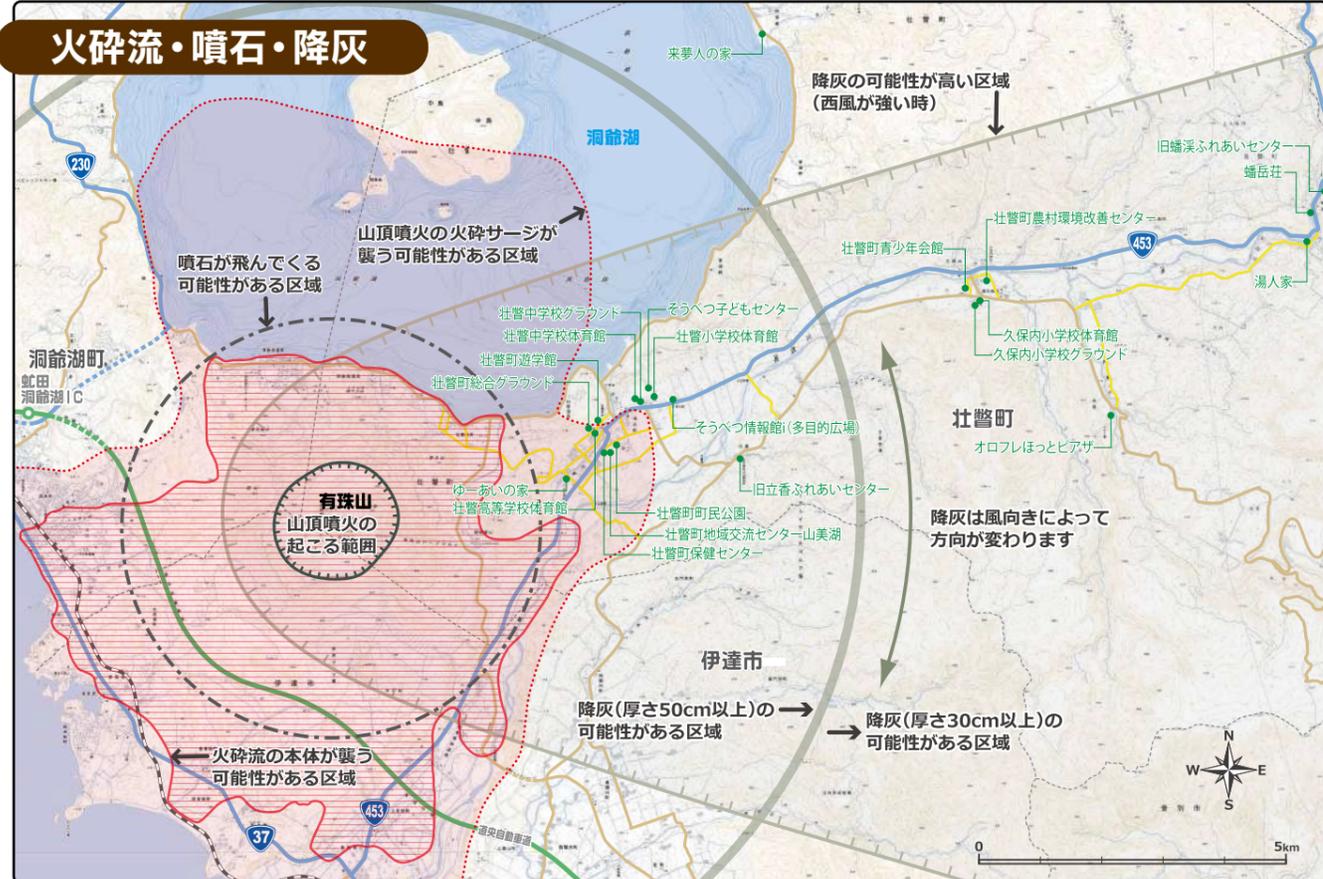


紫:命の危険! うす紫:急いで避難! 赤:高齢者等は避難!

## 火口の位置によって危険区域は大きく変わります！

有珠山噴火には山頂で起こる「山頂噴火(P.15)」と、山麓のどこかで起こる「山麓噴火(P.16)」の二つがあります。それぞれ危険区域は異なることに注意してください。

### 【山頂噴火の場合】

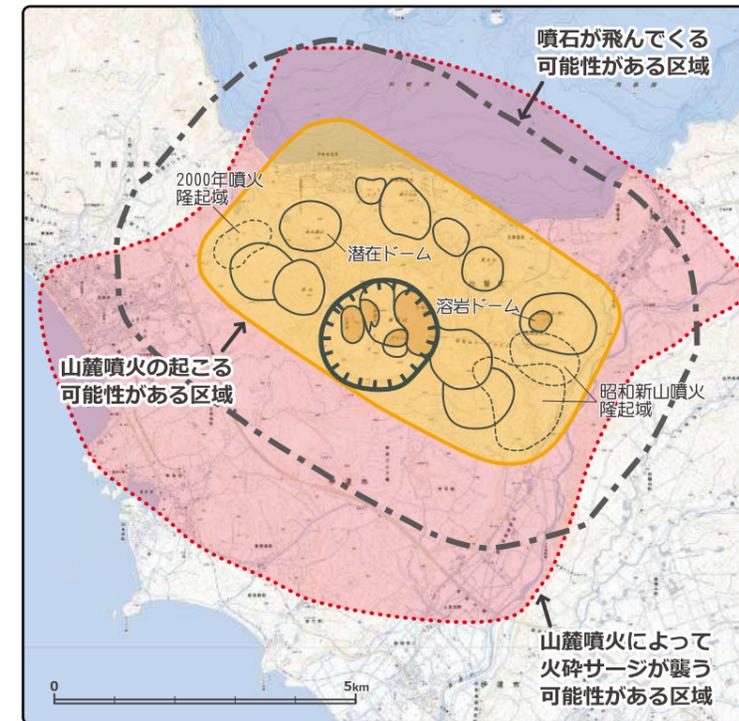


- 1822年(文政5年)と同じ規模の山頂噴火が起きた場合に、被害が予想される危険範囲を示しています。
- 噴火の規模や気象条件などによって危険区域の範囲は変わります。
- 火山灰が積もった地域では、降雨型泥流(土石流)が発生しやすくなります。危険区域以外でも、雨の降り方に注意してください。



Okada, H

### 【山麓噴火の場合】



- 昭和山噴火と同じ規模の山麓噴火が起こる可能性のある範囲と、その場合に被害が予想される危険区域の範囲を示しています。
- 山麓噴火は火口の位置によって危険区域が異なるため、図の赤い部分のすべてが危険区域となるわけではありません。災害の発生が予測される(または発生した)場合の情報に注意してください。
- 山麓噴火でも、降灰や降灰後の降雨型泥流(土石流)、積雪期には融雪型泥流が発生する可能性があります。



Yaegashi

## 噴火に伴う現象

### ●火砕流・火砕サージ

火砕流は、火山灰・軽石・岩塊・火山ガスなどが混ざり合い、火口付近から斜面を押し下る極めて危険な現象です。軽石や岩片量が少なく高温爆風状の場合は、火砕サージと呼ばれます。火砕流・火砕サージは発生してからの避難では間に合いません。危険を感じたら、避難情報が出る前でも自主的に危険区域の外へ避難してください。

### ●噴石

直径が数cm～数10cmの岩塊が噴火時に飛来するもので、稀に1mを超す径の大岩が数km飛ぶこともあります。噴石は建物も破壊するほどの威力を持っています。噴石は速度が速く発生してからの避難では間に合いません。事前に危険区域の外へ避難してください。

### ●降灰

火口から高く吹き出された火山灰や軽石は、上空の風で風下へ運ばれます。火山灰が降ると日中でも突然真っ暗になります。スリップや視界不良で、交通障害が広い範囲で生じ、停電などが発生します。火山灰はノドを痛めたり、目の炎症を起こします。普段からマスクやゴーグルを準備しておきましょう。

### ●降雨型泥流(土石流)

噴火に直接関わらず、降雨によって発生するものを降雨型泥流(土石流)といいます。火山灰が覆った斜面では、少ない雨でも降雨型泥流が発生しやすく、下流域でも注意が必要です。

### ●熱泥流(火口噴出型泥流)

火口から泥流が直接流れ出るものを火口噴出型泥流といいます。熱いお湯が多い場合は、熱泥流とも呼ばれ、湯気が立つのが見られます。2000年噴火では、熱泥流が発生し、橋が流されたり、建物に被害が出ました。

### ●融雪型泥流

積雪期の火砕流噴火では、その熱のため山の積雪が一気に融け出し、広域で融雪型泥流が発生することがあります。

上記の各泥流は地形的に低い川筋に沿って流れ下ります。すばやく高台などの安全な避難先へ向かってください。川や谷の出口も危険です。

# 「避難」って何をすればいいの？

避難所へ行くことだけが避難ではありません。  
「避難」とは「難」を「避」けることであり、下の4つの行動があります。

### 行政が指定した避難場所への立退き避難

自ら携行するもの  
・マスク  
・消毒液  
・体温計  
・スリッパ等

### 安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。  
※ハザードマップで安全かどうか確認しましょう。

## 普段からどう行動するか決めておきましょう

### 安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に確認しましょう。  
※ハザードマップで安全かどうか確認しましょう。

### 屋内安全確保

ここなら安全！  
ハザードマップで自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。  
**--- 想定最大浸水深**  
※火山噴火や土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

## 有珠山の噴火警戒レベル

平成20年6月9日運用開始  
令和2年3月9日改定

種別	名称	対象範囲	レベル(キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報(居住地域)又は噴火警報	居住地域及びそれより火口側近くまで	5(避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	●危険な居住地域からの避難等。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●噴火発生前に体に感じる地震が多発し、著しい地殻変動が目視でも確認される。 <b>過去事例</b> 2000年3月29日、1977年8月6日、1943年12月29日及び1910年7月23日:体に感じる地震が多発 2000年3月31日、1977年8月7日:道路、山体等に亀裂・断層が発現</li> <li>●山頂から噴火が発生し、大きな噴石や火砕流・火砕サーージ、火山泥流が居住地域まで到達。顕著な地殻変動。 <b>過去事例</b> 1977年8月7日:山頂火口原からの噴火により、大きな噴石が火口から約2kmまで飛散。多量の軽石・火山灰が広範囲に堆積 1978年8月16日:山頂火口原からの噴火により火砕サーージが洞爺湖畔まで流下</li> <li>●山麓から噴火が発生し、大きな噴石や火砕サーージ、火山泥流が居住地域まで到達。顕著な地殻変動。 <b>過去事例</b> 2000年噴火、1943~45年噴火: 火口から約1kmまで大きな噴石が飛散 1944年7月11日:火口から約2km先まで火砕サーージが到達 2000年噴火、1943~45年噴火、1910年噴火: 火口からの火山泥流が発生</li> </ul>
			4(高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等。 <b>山体に近い地域で、何度も揺れを感じた場合には、避難するなど早めの行動を心がけてください。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●体に感じる地震の発生や、膨張性の地殻変動が検出される。 <b>過去事例</b> 2000年3月28日、1977年8月6日、1943年12月28日: 体に感じる地震が発生</li> </ul>
警報	噴火警報(火口周辺)又は火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3(入山規制)	居住地域近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生することがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入山規制等、危険な地域への立入規制等。</li> <li>●住民は今後の火山活動の推移に注意。</li> </ul> <p style="text-align: center;">レベル3はレベル5から下がる段階で運用します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大きな噴石、火砕流・火砕サーージ及び火山泥流が居住地域の近傍に達する。 <b>過去事例</b> 2000年5月中旬頃~9月頃の活動: 火口周辺から居住地域近くまで噴出物が到達</li> </ul>
			2(火口周辺規制)	<p>〈噴火発生前〉 居住地域に重大な被害を及ぼすマグマ噴火に移行する可能性がある。</p> <p>〈噴火発生後〉 噴出物の飛散が火口近傍に留まる程度のごく小規模な水蒸気噴火が発生することがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●山頂火口原及びその周辺、避難に時間を要する地域への立入規制等。</li> <li>●住民は今後の火山活動の推移に注意。</li> <li>●高齢者等の要配慮者の避難の準備等。 <b>山体に近い地域で揺れを感じた場合には、高齢者等の要配慮者の避難や、住民の避難の準備など早めの行動を心がけてください。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●体に感じない微小な地震活動の高まりがみられる。 <b>過去事例</b> 2000年3月27日、1977年8月6日: 体には感じない火山性地震が増加</li> </ul>
予報	噴火予報	火口内等	1(火山に留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●山頂火口原及びその近傍等への立入規制等。</li> <li>●住民は通常の生活(状況に応じて火山活動に関する情報収集、避難手順の確認、防災訓練への参加等)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●火山活動は静穏。状況により、山頂火口内及び近傍等に影響する程度の火山灰の噴出等の可能性がある。</li> </ul>

※レベル5において噴火発生後、噴火地点等が特定できた場合は噴火警報を発表し、警戒が必要な範囲を活動している火口等の周辺に限定・縮小してレベル5の継続またはレベル3への引下げを行います。  
※噴火活動の低下に伴ってレベルの引下げを行う過程では、レベル4は運用しません。  
※最新の噴火警戒レベルは、右QRコードの気象庁HPでご覧になれます。



**気象庁**  
Japan Meteorological Agency  
令和3年12月

## 「屋内安全確保」のための備え

### 備蓄

自宅の被害は免れても、電気・ガス・水道などのライフラインや物流が止まり、普段通りの生活ができなくなる恐れがあります。1週間は生活できるように備蓄品を整えておきましょう。

#### 【備蓄品の例】

- 水(1人1日3リットル)
- 食料
- カセットコンロ、ガスボンベ
- 懐中電灯やランタンなど
- 水のいらないシャンプー、歯磨きシート

#### 日常備蓄(ローリングストック)

食料はふだん食べる物を多めに購入し、消費した分を買い足す「日常備蓄(ローリングストック)」という考え方があります。普段の買い物から気軽に始められるので、もしものときにそなえて、日常備蓄をはじめましょう。

### トイレ

災害による断水や排水管の損傷などの影響で、自宅のトイレが使えなくなる可能性があります。各家庭における災害時用のトイレの備えは欠かせません。簡易トイレや、携帯トイレのほか、ビニール袋や新聞紙のようなトイレの代用品を備えておきましょう。



### 屋内の安全確保

「屋内安全確保」のためには、自宅が安全に住める状態であることが重要です。そのため、家具の転倒防止などを行いましょう。

